富士見市議会議員・星野みつひろ

夢をかたちに…!!

mitsuhiro hoshino supporters news letter

発行人
星野みつひろ後援会
〒354-0021
富士見市大字鶴馬2612-7
TEL/ 049-254-6332
FAX/ 049-252-4651
www.hoshino-corp.com/3hiro/
e-mail : 3hiro@hoshino-corp.com

平成20年6月20日 No.12

名は体を表す

3月議会において平成20年度予算を可決しました。その年の予算は1年の施政を表し、市長の姿勢を表します。266億1，147万円の一般会計予算は昨年より8.9％増の予算となりました。やり繰りや工夫を凝らした努力は評価できるところです。つるせ台小学校建設にPFI手法を取り入れ、借入金を10億円に縮減。市債の金利負担を軽減するために年7％以上の市債について繰上償還し借換を実施。新施策として学校教育支援事業に英語指導助手の小学校への派遣など30，603千円、富士見市をきれいにする条例に基づく路上喫煙禁止の啓発などに2，776千円など。予算としては大きなものではありませんが、限られた範囲で前向きな投資がなされました。しかし、市債残高254億円、まだまだ財政健全化と適切な市政運営に多大な努力が必要です。

名は体を表す。富士見市はメタボリック体型の36歳。膨れた借金のためにお腹が出、経常経費を下げるためにダイエット、財政基盤である足腰への負担を軽減中。投資的経費である両腕に少しづつ筋肉を戻す筋トレも必要。最後は頭の活性化、リーダーシップ不全症候群の解消でしょうか？

これからの富士見市を語る⑤

前回、富士見市を取り巻く社会的な環境から、「機会」についてヒト・モノ・カネ・情報に分けて整理しました。

今回は、富士見市にとって将来何が「脅威」となってくるのか、考えます。

ヒトの問題では日本全体として少子高齢化と、それにともなう生産年齢（いわゆる「働き手」）人口の減少。都市への人口集中による地域への愛着心の低下も問題です。次にモノでは、公共施設の老朽化やベンチャービジネスの減少も社会的な現象です。これらが原因となって、医療費の増大や税収の減少をひきおこし、地方自治体の財政を圧迫するといったカネの面での脅威となっています。さいごに情報ですが、現在救急医療などで医師不足が問題となっていますが、地域医療をになう開業医の後継者不足は、これから深刻になってくる問題です。また、教育予算削減による学校行事の減少や、不登校児などの教育に関する問題も、今後ますます顕在化してくるでしょう。

以上、五回にわたってわが市の強み、弱み、機会、脅威を整理してきました。この分析結果から、富士見市の強みを最大限に生かして脅威を回避し、さらには機会に変えること。わが市の弱みに正直に向き合い、その対応策を練り、行政の質の向上や効率性を実現すること。そして、弱みと脅威のはさみ撃ちでわが市が大きなダメージを受けないように、まもりと撤退の戦略を考えること。それが、わたしたちに、いま、一番必要とされていることではないでしょうか。

６月３日に「しののめの里」広域斎場・火葬場が完成！
入間東部広域斎場「しののめの里」
〒354-0004富士見市大字下南畑70-1 TEL:049-275-3030 / FAX:049-275-3038
管理運営：指定管理者事業者／いるま野農業協同組合

みつひろに 苦言・甘言

＝くげん・かんげん＝

皆様が、体の事・身なりの事、細やかに心配してくださる星野さん！幸せ者だね。こういう人って向いてんだね　議員（政治家）にね。だってほっといても皆が気にかけちゃうんだから・・・。

早いもんで来年、体重無差別級富士見市議員選挙があります。お父様（謹吾さん）の時代から。川越のご親戚まで・・・etc　大変ですが、こういう星の下に生まれた星野さんですから体に気をつけてガンバッテ!!応援するヨ。

それとサー「ごま塩みっちゃん」議員は、立ち振る舞い・見た目が大事だよね。白髪・ロマンスグレー・**灰色**・・・おっと、これはいけません!!白黒付けて染めましょうか？スーツもXXLからXLに少しタイトにしましょう。みっちゃんみたいに大きい人はダーク系の色が良いかと思う・・・黒い色は強い色なので、かえって**デブに見えたりします。**

髪の毛をスーツの色に例えると、グレーフランネルという上質の布地があります。この所、また出てきたVゾーン高めの2ボタンとか、定番の3つボタン。　こんなスーツ（仕事着）に「ごま塩頭」でも若々しいし、ハツラツとしてるから関沢のTMさん（No.11苦言甘言）今のみっちゃんで・・・・いいかもカッコイイヨ大人色。

市外のみっちゃん応援団　HS

平成20年・3月定例議会報告

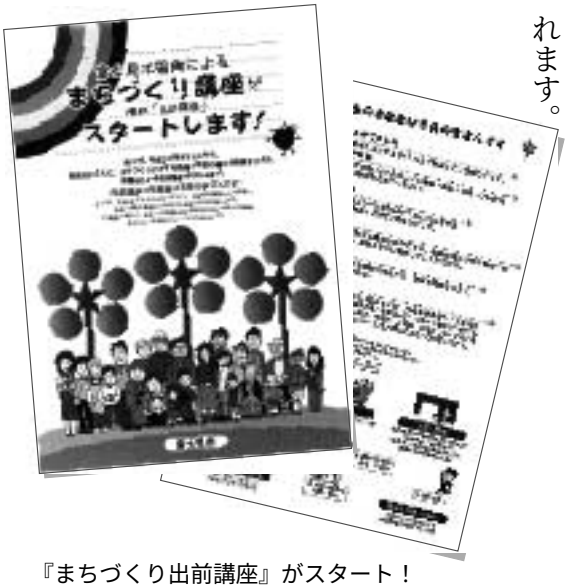
●●● 議会トピックス ●●●

本定例会では平成20年度一般会計予算を中心に報告をします。予算額は表紙記載のとおりで、平成16年度以来4年ぶりの増額となりました。予算編成方針として、行政サービスの効果的な充実、魅力あるまちづくりの推進。公共施設へ計画的な整備、少ない予算で大きな効果を（ゼロ予算事業や市民協働の積極的活用）。事務事業の見直しや職員数の削減、入札制度改革を上げております。厳しい財政状況を踏まえ行財政改革を推進し、行政サービスの効果的な充実や重点政策の選択と集中を図り、市民の期待に応えられるよう効果的な予算編成に努めたもので、賛成をしました。

○議第16号　平成20年度富士見市一般会計予算について

＊市では国に対し財政健全化計画を策定・提出しており、高利の政府債の繰上償還を行い利子の節減を行います。歳入と歳出のバランスを調整する繰入金には財政調整基金を充てます。取り崩し金額は8億9，886万円で前年度比77％増となりました。

主要施策は、鶴瀬第二団地の建替えに併せて、4，200㎡の公園整備を行うための基本設計費が計上されました。公園整備は市とUR都市再生機構が負担割合を決定し市が施工します。高齢者福祉分野では、高齢者保険福祉計画の策定に1，920万円、介護予防特定高齢者施策事業として特定高齢者把握事業、通所型介護予防事業委託事業に20，77万円などが予算化。こども医療費支給事業2億1，193万円は従来の条例を改正し、こども医療費の助成対象を小学校修了までの入院費までを拡充しました。学校施設整備事業費は小中学校体育館耐震調査診断、補強工事設計業務委託を3，410万円を計上しました。この他にゼロ予算事業、市民協働事業が実施されます。



『まちづくり出前講座』がスタート！

まちづくり出前講座の開催、90講座程度を予定。部局運営方針等をまとめた行政経営プランを作成。道路クリーン事業は予算措置の無いゼロ予算事業で、年に2回程度職員により駅周辺の道路の点検、清掃、美化活動を行うものです。以上のゼロ予算事業、各部局長運営方針は私の一般質問において質した内容で本年度実現できました。

○議第10号　平成19年度富士見市一般会計補正予算（第3号）について

＊既定の予算に2億8，743万円を追加し、総額を249億1，416万円とするものです。主な施策として、国の補正予算にともなう関沢小学校耐震補強工事と大規模改修工事を前倒しで実施する費用として8，820万円。次に電算システム移行スケジュールの遅延を理由とする補正予算が計上されました。①システム仕様の決定に時間を要した。②移行全体の進行管理が不十分だった。という大きな理由と、さらに外的要因として高齢者医療システムなどの変更が重なり、多額の税金で補填することになったものです。今後の進行管理や委託先のコンサル会社、開発会社の責任の履行を含め、速やかに移行業務が完遂するよう強く要望し、賛成致しました。

富士見市の財政分析　やさしい会計学　第５回 まとめ：富士見市政の向かうべき方向は

今回は、財政から見た富士見市の実態と今後の方向性についてレポートします。

まず前回までの考察した結論をまとめますと、富士見市の財政構造は、借金は多く、経常的経費の比率も高い。職員の給与水準は高いが、職員数を減らすことで人件費費用を抑えている。とまとめられると思います。非常に窮屈な財政と言わざるを得ません。緊縮財政を続ければ赤字は免れますが将来の成長がありません。何が成長分野かを見極める力と着実に実行する実行力が今富士見市に必要でしょう。

最後に今後の方向性について私見を述べさせていただきます。

①人口増減率、老年人口割合に留意した行政を行うこと

下図2007年推計人口によると、都道府県別にベストとワーストで大きな格差があります。

東京都は最も人口が多く、人口増減率もトップ。一方島根、長崎、鳥取等は過疎県の位置付けで人口減少も多く、老年人口割合も多くなります。但し都市部ではない沖縄県が老年人口、人口増率で埼玉を上回っています。何らかのビジネスチャンスが生まれているというべきで、今後は都市部でも特色がなければジリ貧になるという危機感を持つべきです。

②成長の源泉を内需型産業に求めること

現在団塊の世代が定年を迎えていますが、戦後の日本経済の復興は一貫して外需（輸出等）に支えられましたが、その主役は中国･インド等に移りました。

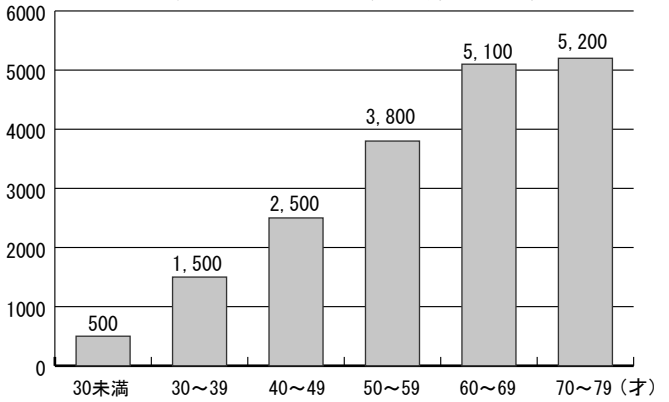
今後は内需を意識した経済成長にならざるを得ないと思います。下図世代別資産でも団塊の世代はがっちり資産を保有しています。これが停滞せず循環するためには、健康維持（医療）、自分への投資（教育）、新たなライフスタイルの追求（住宅）等がいかに活性化するかであり、地方自治としてこれらの基盤整備が成長の鍵になると思います。今回でこのシリーズを終了します。ありがとうございました。

2007年10月１日推計人口（総務省資料）

	総人口(千人)	人工増減率(%)	老年人口割合(%)
東京	12,758	0.78	19.7
埼玉	7,090	0.27	18.3
鳥取	600	－ 0.70	25.1
長崎	1,453	－ 0.88	24.8
島根	731	－ 0.75	28.2
沖縄	1,373	0.35	16.9

ベスト１　ワースト１

世代別に見た家計の平均資産保有額（万円）
（総務省統計局「全国消費実態調査2004年」）



編集者のつぶやき

勉強会に参加して思うこと…みっちゃんは、スタッフをはじめ色々なジャンルの仲間達に、文字通り支援されているということです。そしていい意味で、少しづつ前に進んでいる…動きを感じます。「胎動」のような動き!!喜びを運んで来る…そんな未来を感じています。どうぞ応援宜しくお願い致します。大っきく・大きく成長中！

星野みつひろ
公式ホームページ
www.hoshino-corp.com/3hiro

今 ここからだ 日記

by 日鼻 靖

後期高齢者医療制度

今年４月より７５歳以上の長寿の方（後期高齢者）のための新しい医療制度が始まりました。これは医療費削減至上主義の方々が考え出した、現代版“姥捨て山”よりもひどい悪法といわれています。長寿の方は制度のこと、保険料のことなどいろいろ不安のことがあると思います。しかしこの地区では医師会の先生方が協力して今までと変わりなく近くの医療機関を安心して受診していただいて大丈夫です。かかりつけのひとつの医療機関を決め、他の医療機関を受診できないわけではありません。わからないことがあれば遠慮なくかかりつけ医の方に相談してください。